



子どもたちに表情の描き方などを教えるももココロさん(27日、南城市立船越小学校)

表情描き方に工夫

ももココロさん 船越小で漫画教室

【南城市】琉球新報の4コマ漫画がじゅまるファミリーを連載しているウチナー漫画家ももココロさんによる漫画教室が27日、南城市立船越小学校(宮城伸子校長)で開かれ、6年生46人が参加した。

ももさんは「笑う」「怒る」など表情の描き方について説明したほか「静かな雰囲気を表すには『しん』といった文字を書き込む』など、漫画を描く際に重要な点などを、ユーモアを交えながら教えた。児童は同市のイメージキャラクター「なんじい」をモデルにした4コマ漫画にも挑戦した。ももさんのアドバイスを受けながら熱心に取り組んでいた。

ももさんは「作品一つに5〜6時間かかることもある。みんなが今日、漫画を考えるのは大変だったはずだ。ただ大変なことを経験するのは人間が成長する上で大切だ。練習が重要だ」と締めくくった。

参加した安里太翔君(12)は「漫画の描き方は奥が深いと思った。顔の表情と工夫されていることを初めて知った」と話した。

